

平成 23 年度 事業計画

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)



公益社団法人日本グラススキー協会

(平成 23 年 2 月 3 日理事会承認)

<JGSA 事務局>

〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 E-309

TEL047-309-7001FAX047-309-7002

www.grass-ski.or.jp info@grass-ski.or.jp

公益社団法人日本グラススキー協会 定款

(目的)第4条 この法人は、わが国におけるグラススキー界を統括し代表する団体として、グラススキーの普及及び振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

(事業)第5条 この法人は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(公益目的事業1) グラススキースポーツ普及及び振興

1) 体験会・講習会事業

グラススキーの普及及び振興を目的とし、協会公認インストラクターによる未経験者及び初心者を対象とした体験会、経験者を対象とした講習会を、主催事業及び開催グラススキー場との共催・協力・後援事業として実施。

「グラススキーステップアップ 2011」①ジュニアトレーニング会②体験会③講習会

会場：九州会場（法華嶽公園）

中国会場（サイオトスキー場）

関西・四国会場（中尾山高原グラススキー場）

関東・甲信越会場（サンパーク都留グラススキー場）

北海道・東北会場（七ヶ宿グラススキー場）

*協力事業 埼玉県滑川市武蔵丘陵森林公園 5月～9月 計10日間開催予定

2) グラススキーヤーの技術認定

グラススキーヤーの技術達成目標となる3種の技術認定制度を実施

①ジュニアテスト（ステップアップ 2011 会場他）

②オフィシャルテスト（ステップアップ 2011 会場他）

③指導者検定 長野県 斑尾高原 10月15日（土）開催

3) 指導者資格取得者（グラススキー指導者）研修会

講師：普及委員及びデモンストレーター

開催予定：6月中旬サンパーク都留グラススキー場 ・7月上旬赤城芝スポーツ

4) グラススキー用具の普及・認定及び施設の認定

①用具認定：JGSA 用具規定に基づく公式用品の認定

②用具の普及：公式メーカー情報をHP等で紹介

③施設認定：JGSA 施設規定に則った施設公認を実施

5) グラススキー広報活動

公式HPでの情報発信及び公開、取材協力・ニュースリリース配信などを実施

6) グラススキーに関する調査研究

内外のグラススキー及びグラススキーの指導方法等に関する調査研究（研修DVDの配布）の実施

◆事業の財源：事業収益及び（独）日本スポーツ振興センター補助金（スポーツ振興くじ申請）
会費・補助金・公認料・寄付金収入・雑収入

(公益目的事業 2) グラススキーヤーの育成及び強化

1) 競技規則の制定

競技規則の制定をもって公正な競技会を開催する。

国際スキー連盟国際競技規則を基本に国内の実情（施設環境）に合わせた国内規則を制定

2) 全国大会その他各種競技会の主催（共催）開催、協力、後援

①主催大会

「第7回都留市ジャパンジュニアグラススキー大会」（スポーツ拠点づくり推進事業）

会場：山梨県都留市サンパーク都留グラススキー場

日程：8月19日（金）～21日（日）

参加資格：全国8ブロックよりの選手選抜（選考会・クラブ推薦）

ジュニア層の拡大、充実をはかりジュニア選手の目標となる大会として開催

*2012年 FIS チルドレンズキャンプ派遣選考大会とする

「第27回全日本グラススキー選手権」：FIS 国際スキー連盟公認申請

「第18回高円宮杯グラススキージャパンオープン」（スポーツ振興基金助成事業）

会場：宮城県 七ヶ宿町 七ヶ宿スキー場

日程：10月7日（金）～9日（日） 総裁高円宮妃殿下御臨席（10月8日・9日）

参加資格 *当該年度の公認大会に出場し完走した者

*過去の大会参加の実績等から一定の JGSA ポイントを有する者

*講習会やクラブでのトレーニングを積み、一定技術レベルを有すると協会
または所属クラブが認め参加を推薦された者

「第26回全日本テクニカル選手権」

会場：長野県 斑尾高原スキー場 日程 10月16日（日）

参加資格 *講習会やクラブでのトレーニングを積み、一定技術レベルを有すると協会
または所属クラブが認め参加を推薦された者

*規定により上位者（有資格者）を JGSA デモンストレーターとして認定する

「FIS 公認チルドレンレース・FIS レース」 FIS 国際スキー連盟公認申請

会場：長野県飯山市斑尾高原スキー場（ジュニア・世界選手権最終選考レース）

日程：7月16日（土）チルドレン GSL 17日（日）チルドレン SL・FIS SL

②公認大会 JGSA（B級）公認大会の開催（スケジュール・ポイント管理）

公認大会はクラブ主管とし JGSA より TD を派遣及び大会運営費用の一部負担を行う

*その他競技会開催への協力後援

各競技大会・公認大会への計測器他備品の貸し出しを行う

③各競技会場を利用した選手育成及び強化

チルドレン・ジュニア強化（含むジュニア世界選手権・世界選手権選考）

3) 競技記録の表彰

各大会（主催（共催）、公認、協力、後援）でのレース結果個別表彰とは別に、シーズン（年間）を通じた活動（国内外の個人及び団体の努力の成果）を評価し、年間最優秀選手（団体）を表彰（表彰状及び記念品授与）

- ◆事業の財源：事業収益及び（独）日本スポーツ振興センター補助金（スポーツ振興基金）並びに会費・補助金・公認料・寄付金収入

（公益目的事業3）国際スキー連盟グラススキー委員会との相互協力

1) 国際大会への選手派遣

- ①チルドレンズキャンプ派遣（第6回都留市ジャパングジュニア大会にて選手選考）

開催地：チェコ 日程：8月1日（月）～7日（日）

男子 高木雅也（磐梯市都留）女子 竹内さんご（磐梯市都留）監督1名を派遣

- ②国際スキー連盟公認ジュニア世界選手権・世界選手権派遣

開催地：スイス 日程：8月29日（月）～9月4日（日）

代表選手選考規程を基本に育成・強化事業にて代表選手選考

- ③国際スキー連盟公認大会派遣事業

FIS登録並びに（国際スキー連盟）公認大会への参加申込手続きを含む参加選手へ支援。

ナショナルチームの編成（シニア・ジュニア・チルドレン）

- ④2013年世界選手権日本開催に向けた活動を行う

宮城県刈田郡七ヶ宿町 みやぎ蔵王七ヶ宿スキー場 : 2013年9月上旬

2) 国際スキー連盟グラススキー委員会への委員派遣及び競技運営役員派遣

FIS（国際スキー連盟）グラススキー委員会への委員派遣実施

国際担当理事（H21年～盛田英夫副会長）

国際資格（TD資格）の取得及び研修派遣実施

- ◆事業の財源：事業収益（海外登録料）及び会費・補助金・公認料・寄付金収入

4 その他この法人の目的を達するために必要な事業

- ①所管官庁指導のもと、各種法令を順守する
- ②関係諸団体との関係をより密接に維持する
- ③新規寄附・協賛企業・賛助会員の獲得を目指す
- ④組織について（専門委員はH22年年度よりの継続とする）

委員会	責任者	委員
普及	豊野 智広 飛鳥井匠哉	渡部 秀文（七ヶ宿 GSC） 矢野 誠（都留 GSC） 吉永 博人（ ） 飯塚 俊直（ ） 松原 正和（中尾山）
		デモンストレーター
		新谷 起世（DLWH） 木川 将軍（都留 GSC） 八島 徹也（七ヶ宿 GSC） 中野 聡（ ） 芦田 直哉（斑尾 GSC）
育成強化	根岸 一之	松本 正男（七ヶ宿 GSC） 高橋 浩之（七ヶ宿 GSC） 中澤 謙一（天元台 GSC） 田邊 聡一（都留 GSC） 矢野 誠（都留 GSC） 飛鳥井匠哉（DLWH） 中野 聡（ ） 根本 章（JAPAN F）